

# NPO 消費者市民ネット21 NEWS LETTER No.5

## 消費者市民社会の形成に向け多彩な内容 みと消費者市民大学からみと消費者市民大学院へ

水戸市消費生活センターが主催した「みと消費者市民大学」は、学長の高橋靖水戸市長をお迎えして9月16日の開校式に始まり、10月7日、14日、21日、28日の5日間、全10講座が行われ、28日の閉講式では市長から34名が消費者サポーターとして委嘱されました。講座の内容は消費者トラブルへの対処法に留まらず、食品ロスやフェアトレード、金融商品問題、製品事故や県警サイバー犯罪対策課によるネット絡みの問題など多岐に亘り、受講生からも内容が多彩で大変勉強になったという感想が多く寄せられました。10月17日には茨城新聞社社長の小田部卓氏による「情報リテラシーと地方紙の役割と題しての公開講演会も開催されました。

消費者市民大学にはNPOも共催という形で、講師派遣や受付などで協力しました。皆様のご協力ありがとうございました。

2018年1月～2月にかけて「みと消費者市民大学院」が始まります。まずは2月3日(土)の午後1時30分からみと文化交流プラザ6Fの多目的ホールで、東京経済大学教授で弁護士の村千鶴子さんによる「消費者市民にとってのお役立ち情報～最近の消費者問題とこれから～」の公開講演会があります。その他最近の医療問題や環境問題など幅広い内容が企画されています。

どうぞご出席ください。



講演する足立勇人弁護士(理事)

## 知っていますか？ベジブロス

11月10日(金)、一般市民を対象に、水戸市三の丸市民センター調理室で「地球・身体・お財布にやさしい料理教室」を、いばらき環境情報テーブルという民間団体と協働で開催しました。いばらき環境情報テーブルは地球温暖化防止活動推進員7名で構成されているNGOです。これまでは仲間内の座学中心の活動だったそうですが、今回私たちNPOとの協働事業で初めて外に向けての事業を展開しました。内容はNPOの会員でもあり、もともとひたちなか市で生活クラブ活動や環境問題などを手掛けてこられた武田裕子さんを講師に、「ベジブロス(野菜出し)」や「出し」を取るときにつかった昆布やカツオ節、シイタケなどに人参や油揚げを加えた「チラシ寿司」、酢の物などをつくり試食しました。また調理実習に入る前に、環境情報テーブルの福士俊夫さんから「茨城の食文化」や「フードマイレージ」などについての講義もあり、従来の料理教室とは一味もふた味も違うユニークな料理教室

で、男性の参加も5名。ベジブロスや環境問題に大きな関心を持たれたようでした。また当日は茨城新聞社の取材もあり、後日大きく掲載されました。



### 29年度会費の納入のお願い

正会員 5,000円 賛助会員 3,000円  
茨城県信用組合 本店営業部 普通預金口座 (7578412)  
(特非) NPO 消費者市民ネット21 代表理事 大竹はるみ

## ＝消費者教育推進法施行 5周年記念シンポジウム＝

12月10日（日）、日本消費者教育学会関東支部創立35周年記念事業－消費者教育推進法施行5周年記念シンポジウムが、日本女子大学目白キャンパスで開催され、米川久子理事がパネリストとして発表、田山知賀子理事も出席しました。これは私たちNPOと水戸市消費生活センターが消費者市民社会の形成に向けた活動を展開してきたことへの評価でもあります。以下米川理事と田山理事の報告です。



提案を発表する米川理事

シンポジウムに先立ち、国連環境計画・金融イニシアチブ・特別顧問の末吉竹次郎氏による特別講演「SDGs時代の消費者と企業」があった。SDGsはビジネスの条件になってきた。SDGsに取り組む企業は歓迎、取り組まない企業は退場である。それを決めるのは消費者であり、企業にとって一番怖い存在は消費者であるので、賢い消費者を目指せ」という提言があった。

シンポジウムのテーマは、「消費者教育推進法5年の成果と課題」で、その趣旨は、2012年8月に消費者教育推進法が制定され、12月に施行されたが、被害防止の消費者教育が未だに主流をしめ、消費者市民意識の浸透は進んでいないという現状の原因や今後の方策について語り合い、今後に生かすということである。提案者は、弁護士、全国消費生活相談員協会消費者教育研究所副代表、千葉市消費者教育コーディネーター、消費者教育支援センター総括主任研究員と私の5名で、コーディネーターは横浜国立大学名誉教授の西村隆男先生であった。

私は、NPO消費者市民ネット21の歩み、事業内容、みと消費者市民大学、水戸市の消費者市民社会に向けた歩み、消費者教育実践例、実践から見える消費者市民社会の構築の課題と今後の展望について提案した。  
(米川久子)

消費者教育推進法が制定されて5年。米川理事によるNPO消費者市民ネット21の活動内容や水戸市消費生活センターの取り組みについての報告に、参加者からは先駆的と評価され、感慨深い一日でした。学校・家庭・地域・職域での消費者教育の実践は道半ばですが、今後も報告を糧に新たな思いで消費者市民社会の構築に邁進する所存です。

(田山知賀子理事)

## 城東小学校で環境教育

12月18日（月）、水戸市総合教育研究所から水戸市消費生活センターへ城東小学校4年生2クラスでの消費者教育の要請があり、いばらきエコの会に協力していただき、万華鏡つくりと環境教育が実施され、西野千鶴子会員が協力してくれました。以下、感想です。

城東小学校での消費者教育の授業に参加してきました。4年生の2クラスの授業で、「エコについて学ぼう」というテーマで行われ、お手伝いを兼ねて一緒に学んできました。各クラス1時限の授業で、地球温暖化やペットボトルのリサイクルについての講話、未来のお天気予報体験、ペットボトルでの万華鏡作り、消費生活について学ぶなど盛りだくさんの内容でした。万華鏡作りではキットが用意され、子供たちは、いばらきエコの会の岸先生の話をよく聞きながらあっという間に仕上げ、キラキラ輝く万華鏡を嬉しそうに覗き込んでいました。授業にはどの子供たちも意欲的に取り組んでいて、自分のちょっとした小さな行動が地球温暖化に役に立つのだということが学べたと思います。授業の最後にエコについて遊びながら学べる手作りのからくり式のパンフレットをもらい、熱心に見入っていました。消費教育についても、困ったことがあったら消費生活センターに相談できることを知り良い勉強になったのではないのでしょうか。私も生徒たちと同様、地球温暖化について深く知ることができました。またリサイクルのペットボトルで手作りの万華鏡作りも初体験し、学びながら楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。  
(西野 千鶴子)

## 編集後記

12月中旬、20数年ぶりにパリに行ってきました。モンサンミッシェルには初めて。オレンジー美術館では「モネの睡蓮」を堪能、ルーブルでは人垣の中で「モナリザ」を鑑賞してきました。皆様よいお年を！！(y.m)